

ちょこっと塾 ことわざ

猿も木から落ちる	石の上にも三年	二兎追う者は一兎をも得ず
弘法も筆の誤り	雨だれ石を穿つ	虻蜂(あぶはち)取らず
河童の川流れ	雀百まで踊り忘れず	あとは野となれ山となれ
天狗 の飛び損ない	三つ子の魂百まで	旅の恥はかきすて
のれんに腕押し	絵にかいた餅	渡る世間に鬼はなし
豆腐にかすがい	捕らぬ狸の皮算用	捨てる神あれば拾う神あり
糠(ぬか)に釘	石橋をたたいて渡る	一難去ってまた一難
泣きっ面にハチ	転ばぬ先の杖	前門の虎後門(こうもん)の狼
弱り目にたたり目	蛙の子は蛙	光陰(こういん)矢の如し
猫に小判	瓜の蔓(つる)になすびはならぬ	歳月人を待たず
豚に真珠	月とスッポン	医者の不養生
馬の耳に念佛	提灯に釣鐘(つりがね)	紺屋(こうや)の白袴
犬に論語	恩を仇(あだ)で返す	果報は寝て待て
塵も積もれば山となる	後ろ足で砂をかける	待てば海路の日和あり

問1 左欄の[]の中に、右欄から適当な言葉を選びなさい。
なお、ことわざの意味は右欄下段に示す。

ことわざ	選択肢・意味
[] も木から落ちる	弘法 空海 親鸞 犬 猿 猫 虎 天狗 河童 麒麟
[] も筆の誤り	名人でも失敗すること
[] の川流れ	
[] の飛び損ない	
[] に腕押し	北風 のれん ぬか こんにゃく 納豆 豆腐
[] にかすがい	手応えがないこと
[] に釘	

問2 左欄の[]の中に、右欄から適当な言葉を選びなさい。
なお、ことわざの意味は右欄下段に示す。

ことわざ	選択肢・意味
泣きっ面に []	蝶 蝶牛 蜂 目 足 腸
弱り[]にたたり[]	不運が重なること
[]に小判	
[]に真珠	牛 馬 豚 熊 犬 猫 蛇 鳥
[]の耳に念佛	価値のわからない者に聞かせたり 与えたりしても、役に立たないこと
[]に諭語	

問3 左欄の[]の中に、右欄から適当な言葉を選びなさい。
なお、ことわざの意味は右欄下段に示す。

ことわざ	選択肢・意味
塵(ちり)も積もれば []となる	海 山 宝 岩 石 川
[]の上にも三年	小さなことでも続ければ 大きな成果を生むこと
雨だれ[]を穿(うが)つ	
雀[]まで踊り忘れず	十 百 千 死ぬ
三つ子の魂[]まで	幼い時に身につけた習性は生涯 変わらないこと

問4 左欄の[]の中に、右欄から適当な言葉を選びなさい。
なお、ことわざの意味は右欄下段に示す。

ことわざ	選択肢・意味
絵にかいた []	金 肉 餅 皮
捕らぬ [] の皮算用	手に入れていない物に期待すること
[] をたたいて渡る	石橋 ふとん 鉄橋 杖
転ばぬ先の []	慎重なこと
[] の子は []	なすび 虎 うり 蛙
[] の蔓に [] はならぬ	子の性質は親に似ること

問5 左欄の[]の中に、右欄から適当な言葉を選びなさい。
なお、ことわざの意味は右欄下段に示す。

ことわざ	選択肢・意味
月と[]	釣鐘 すっぽん 太陽 うり まんじゅう 油 少し似ているが大いに違うこと
提灯(ちょうちん)に[]	
[]をあだで返す	ふん 悪口 恩 目 砂
後ろ足で[]をかける	恩人を裏切る行いをする
二[]を追う者一[]をも 得ず	頭 匹 兎 狸 蜂 蝶 あちこち手を出しすぎると何も得られないこと
虻(あぶ) []取らず	

問6 左欄の[]の中に、右欄から適当な言葉を選びなさい。
なお、ことわざの意味は右欄下段に示す。

ことわざ	選択肢・意味
あとは [] となれ山となれ	恥 堀 田 野 荒地
旅の [] はかきすて	後はどうなっても構わぬこと
渡る世間に [] はない	神 仏 悪魔 鬼
捨てる [] あれば捨う [] 世の中には冷たい人ばかりでなく親切 あり	な人もいる
一 [] 去ってまた一 []	象 寅 鰐 災 難
前門の [] 後門の狼	災難から逃れたら次の災難がくること

問7 左欄の[]の中に、右欄から適当な言葉を選びなさい。
なお、ことわざの意味は右欄下段に示す。

ことわざ	選択肢・意味
光陰 [] のごとし	光 時 人 矢 己 時間はあつという間に去ってゆくので 一瞬を大切にという教訓
歳月 [] を待たず	
[] の不養生	教師 医者 紺屋 仕立屋
[] の白袴(しろばかま)	職業人は自分のことに無頓着の例え
果報は [] 待て	なぎ 嵐 日和 寝て 笑い
待てば海路の [] あり	災難から逃れたら次の災難がくること